

教育目標:	○健康で たくましく生きる ○みずから学び 創造する ○心豊かに互いを尊重する
めざす学校像:	○学ぶ喜びが実感できる学校 ○ふれあう喜びに満ちた学校 ○夢を育む学校 (校訓) 師弟同行、夢
めざす生徒像:	超スマート社会 Society5.0に向けて、世界の人々の幸福を願い、主体性を持って生きる人
めざす教師像:	授業実践を通して授業力を高め合える教師、適切な指導ができる教師、組織の一員として協力して職務を遂行できる教師

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標	努力指標	成果指標	成果指標	分析コメント	改善策
				(中間)	(最終)	(中間)	(最終)		
確かな学力の伸長	ICTを活用した令和型教育により、学ぶ楽しさ、わかる喜び、学び続けようという意欲を育む授業を工夫し、確かな学力の伸長を図る	●基礎的・基本的な知識及び技能の習得 ●主体的、対話的で深い学びの実現	ICTを活用し、双方向の個別最適化された学びを充実することで、誰もが「わかる」「できる」授業を実現する。	3		4		授業に対する生徒の理解度は高く、生徒アンケート及び全国学力学習状況調査によって数値として表れている。	ICTを活用しての授業改善に更に一歩踏み込む工夫が必要である。オンライン授業については9月よりハイブリッド方式で開始した。
			討議、発表など学習形態を工夫し、自分の考えを自分の言葉で表現する場を数多く設ける。	3		4		国語や総合的な学習の時間をはじめとする言語活動の工夫の成果が、数値として表れている。	コロナ禍の中での教育活動が制約を受けていることを踏まえて、どのような工夫が必要かを互いに提案していく。
豊かな心の育成	人と人とのふれあいを通して、自己肯定感を高め、心豊かに自信をもって生きていく力を育む	●道徳教育の充実 ●学校文化としての二中らしさの継承と深化	特別の教科道徳の趣旨を踏まえ、題材や発問を工夫することで「考える道徳」「議論する道徳」の授業を実現する。	1		4		議論する授業の実践について教師の結果が想定以下であった反面、生徒の授業への参加は良好であり、大切にしていきたい。	話し合い活動をやらせにくい状況下ではあるが、生徒の期待に応える道徳の授業を提供するための工夫が必要である。
			生徒の活動を通して、二中の伝統を継承・深化させるとともに、責任感・協調性・自主自立の精神を育む。	2		3		様々な生徒の活動が制限を受けているが、「師弟同行」という校訓を生かしての取り組みを工夫している。	生徒にとって協力して取り組む機会が減り、難しい面もあるが、引き続き生徒が参加できる活動を工夫していく。
体力向上	コロナ禍における健康で安全な学校を目指し、たくましく生きていく力を育む	●運動の日常化による体力・運動能力の向上	授業や学校行事、部活動等で指導法を工夫し、運動の日常化を図る。	4		—		部活動の時間や体育の授業の制約がある中、日々の細かな実践の積み重ねにより、一定の成果が現れている。	生徒の運動に取り組む意欲を高めるよう、引き続き活動内容を工夫して、運動の日常化に努める。
特色ある教育活動の推進	特色ある教育活動を推進し、地域から信頼される学校を創造する	●特別支援教育の充実 ●部活動の改革	学校行事による共同学習を工夫し、通常の学級と特別支援学級の交流を推進する。	4		2		交流活動は日常的に定着している。教師・生徒ともに意識は高いが、活動の制約が影響している。	共同学習に取り組むための学習環境を生徒に提供して、交流を推進していく必要がある。
			地域との組織作りを進め、学校と地域が協働した部活動の具体的な実現方策の見直しを立てる。	1		—		地域連携については、特定の部活動が先行実施を検討している段階であり、教員の意識としては浸透していない。	先行実施している部活動の成果を周知して、自分が担当する部活動をどうしていくかを考える材料を提供する。